



虎の門病院で「がん」を治療中の皆さまへ

こんなお悩み ありませんか？

痛み

しびれ

ふらつき

- ・背中、腰回り、手足の痛み
- ・きっかけなく生じる痛み
- ・だんだん悪化する痛み



- ・手足のしびれ
- ・歩くと悪化する足の痛みや違和感



- ・足の力が抜けるような感覚がある
- ・最近歩きにくい感じがする



その違和感、放っておかないで！

- ・原因は骨や神経などの運動器によるものかもしれません
- ・虎の門病院 本院には
がんに詳しい整形外科医（運動器の専門家）がいます

いちど本院整形外科外来で
相談してみませんか？

(月または火午前「安野医師外来」へ)

主治医の先生からの紹介で
予約受診できます

裏面もご参照ください

<主治医の先生へ>

- ・骨転移による痛みや神経症状は患者さんのQOLを著しく低下させます
- ・早期診断・治療開始が肝要です
- ・狭窄症などの加齢変性による痛みと骨転移による痛みの診断が容易でないことがたびたびあります
- *患者さんからのお問い合わせがありましたら、本院 整形外科との共診をご検討ください
- 紹介先は、整形外科担当医師「安野」までお願いいたします (月・火午前に外来あり)



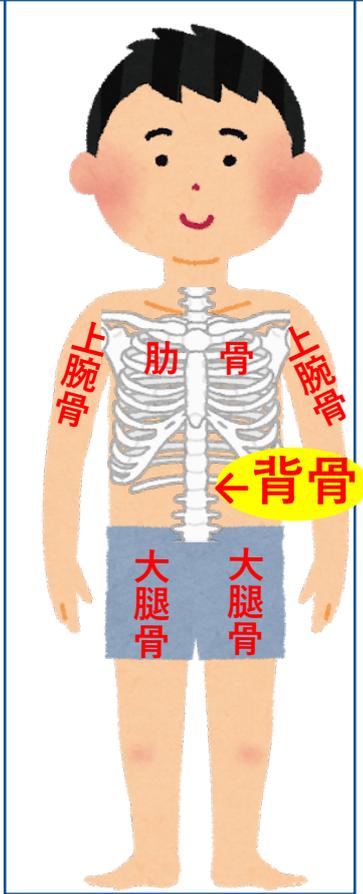
虎の門病院で「がん」を治療中の皆さまへ

がんの骨転移

豆知識

がん細胞が骨に病巣をつくると「骨転移」と診断されます。背骨の転移が最も多く、大腿骨、上腕骨、肋骨など全身の骨に転移することが知られています。（右図参照）

転移しやすい骨



ポイント 早期対策が重要

痛みや神経障害が進行すると生活の質に大きく影響します。そのため、早い段階で診断し、定期的な整形外科医の診察や適切なタイミングでの治療（放射線治療や手術）を行うことが重要です。

日頃からご自身の状態をよく観察し、**これまで感じたことがないような痛み、しびれ、ふらつきなどの症状がある場合は**、主治医の先生に本院整形外科（月/火平日午前安野医師）外来への紹介受診をご相談ください。



虎の門病院広報誌「T-MAGAZINE」vol.3(2020年5月発行) “TALK SESSION” コーナーで、整形外科と放射線治療科の対談が掲載されています。こちらもご参照ください。

教えて！整形外科ドクター

運動していいの？ 安静にしていた方が良いの？



活動性を維持し、身体が元気な状態でがん治療を継続するために定期的な運動が重要です。一方、年齢、がんの種類・治療状況、骨粗鬆症や変形性関節症の有無などにより、目標とすべき運動量は患者さん毎に異なります。どのような運動を、どの程度実施すると良いのか気になる方、骨や関節の運動器についてお悩みの方はぜひ本院 整形外科外来を受診してください（下記参照）。

*<がんの骨転移/運動関連>

本院 整形外科 外来 受診方法：まずは①、その後②の順番になります

①虎の門病院かかりつけ医師に、本院 整形外科 安野医師外来の受診を相談(検診依頼発行)

②月か火曜日の整形外科 安野医師外来に 予約または予約外受診(受付月火平日8:30~10:30)

*他院でがん治療中の方で、初めて虎の門病院を受診する場合は、かならず主治医の先生から安野医師宛の紹介状が必要となります



ご不明な点がございましたら、がん相談支援センターでもお話をおうかがいたします

*虎の門病院 がん相談支援センター TEL: 03-3588-1171 平日9:00~16:00